

フクシマをくりかえすな!

「原発問題講演会」

さて、2011年3月11日の東日本大震災・東電福島第一原発事故から3年が経過しましたが、今も「放射線管理区域」並みの環境での生活を強いられています。

福島では13万5千人もの人々が避難生活を余儀なくされ、ストレスによる罹病と寿命の短縮、家族の離別、故郷の分断と破壊、賠償と支援の切り捨て、深刻な被曝労働と失業、非人間的な生活は続いています。

メルトダウンした核燃料が、どのような状態になっているのかも誰も確認できていません。いまだに事故原発の周囲に、地下水からの遮断壁を造ることもしないまま、高濃度汚染水は増え続け、タンクや配管からも、割れ目だらけの地下水からも海に漏れています。

しかし、安倍政権は、福島の原発事故がなかったかのように、「エネルギー基本計画」の政府案をまとめ、原発を「重要なベースロード電源」と位置づけ、原子力規制委員会の基準に適合した場合は「再稼働を進める」と、改めて原発推進の姿勢を示しました。

そして、原子力規制委員会は、原発再稼働の前提となる新規基準の適合性審査で、九電「川内原発」1、2号機（鹿児島県）を優先して進めることを決めました。

一方、北電泊原発3号機は、周辺断層の活動評価に時間がかかり、想定される最大地震の揺れ（基準値振動）が策定されていないことから「優先審査」から外されましたが、九電「川内原発」が再稼働に向けた最終段階に入ったことで、「ひな型」ができるとして、安全審査の進展を期待する声が上がっています。

こうしたことから、今後泊原発3号機の「再稼働」の可否を問う重要な局面を迎え、泊原発が規制委員会の安全審査をクリアすれば、「再稼働」への同意が求められます。

つきましては、こうした情勢をふまえて、標記の「講演会」を開催しますので、多くの皆さんの参加をお待ちしています。

【日 時】 2014年4月25日(金) 18時30分～20時30分

【会 場】 帯広市「十勝教育会館」3階 大会議室

(帯広市東6条南10丁目)

【参加費】 無料 ※事前の申込は必要ありません。当日、直接会場へお越しください。

■講演

「知ってましたか？ 原発をやめたほうが得する8つの理由」

■講師

「小野 有五」さん

北海道大学名誉教授

【主 催】 さようなら原発1000万人アクション十勝実行委員会
事務局／平和運動フォーラム十勝

